

1. 防災について

	タイトル	意見等
1	危機管理体制について	後藤田正純徳島県知事様は令和6年1月1日16時10分頃に石川県能登地域で発生した震度7の地震を受けて、徳島県災害警戒本部会議を招集してください。そして、徳島県民一人一人の生命と財産を守ってください。
2	危機管理体制について	後藤田正純徳島県知事様の政治主導で徳島県全県一斉に徳島県防災訓練を実施してください。 具体的には、参加者全員がロープ結びができるようになること、5分以内にテントが立てられること、飯盒炊爨が炊けること、高層の建物から階段で1分以内に脱出できること
3	能登地震の被災者の受け入れ	コロナのとき、ホテルを借り上げたように、能登地震の被災者のため、短期間、ホテルを借り上げ、被災者の受け入れをしてはどうか。地震のないところで、2週間から一ヶ月程度受け入れれば、能登半島の状況も改善し、ふるさとに帰ることができる。今は、食料も暖房もない体育館のような避難所に、おいておくのは忍びない。ホテルの借り上げ費用は国庫負担にしてもらい。徳島だけでなく、関西広域連合すべてで、ホテルを借り上げ被災者の受け入れをすれば、被災者の大きな助けになるだろう。検討をお願いしたい。
4	危機管理について	後藤田正純徳島県知事様が自然災害に迅速かつ的確に対応できる常設の危機管理対策本部並びに常設の危機管理対策室の設置をしてください。 地震、津波、台風、豪雨、暴風、洪水など
5	地震対策	東日本にはじまり熊本そして能登地震、南海トラフ地震に備える徳島県として、市町村を含め果たしてどれだけの準備ができているのでしょうか？ 言うまでもなく高齢化率の高い徳島県、また県南地域の幹線道路は55号線のみ。それ相応の対応が必要とされるはずですが、食料や水はともかく不足の多い簡易トイレ、簡易テントに段ボールベッドや毛布そして発電機は県のみでなく市町村単位で相当数確保があらためて必要とされるはずでしょう。 県民の生命を守るため、あらためて今回の地震を教訓として一層の準備を図って頂きたい。 また、これだけの準備がとオープンにするのも肝要かとも思われます。
6	危機管理について	後藤田正純徳島県知事様が南海トラフ地震から、徳島県民一人一人の生命と財産を守ってください 令和6年能登半島沖地震の発生で、南海トラフ地震の発生の現実味が高まりました。 私の自宅は阪神淡路大震災の発災時には、建物の一部が崩壊しました。 東日本大震災の発災時には、気象庁から徳島県全県に大津波警報が発令されました。
7	防災関連マップの改善	現状 自分の住んでいる地域や職場のハザードマップを調べるも、よくわからない区域別のマップに分かれており、どの番号に該当するか調べる必要があり、面倒。 pdfを開いても見にくいマップがあるだけで、スマホの画面からだ、拡大と縮小を繰り返して見る必要があり、面倒。 改善案 住所を検索すると、自動でその場所がピックアップされ、津波や地震などの危険度合いを示し、避難場所や避難ルートを案内するシステムを作してほしい。